

# 土木交通委員会説明資料

平成29年3月16日

交 通 局

# 目 次

ページ

1	一日平均乗車人員の推移	1
2	運転キロが増加する主な系統	2
3	バス路線の見直し	3
4	港区役所回転場を活用した管理委託	5
5	地域巡回バスの新たな魅力づくり	6
6	「幸せつかもう！ハート♡バス」に関するアンケート	7
7	名城線・名港線可動式ホーム柵の整備	8
8	地下鉄駅ホームからの転落件数等の推移	9
9	東山線のワンマン運転化による削減人員及び削減額	10
10	千種駅施設の整備	11
11	未利用地	12
12	地下鉄駅バスターミナル用地の有効活用に関する調査の概要	14

1 3	広告料収入の推移	1 5
1 4	駅名板下広告	1 6
1 5	休職者数の推移	1 7
1 6	職員提案制度	1 8

# 1 一日平均乗車人員の推移

## (1) バス

(単位 人)

区分 \ 年度	28	29
定期	117,842	124,619
定期外	107,351	105,791
敬老	89,782	90,767
福祉	23,125	23,923
貸切	1,000	1,000
計	339,100	346,100

## (2) 地下鉄

(単位 人)

区分 \ 年度	28	29
定期	661,376	694,897
定期外	490,034	488,926
敬老	100,246	101,626
福祉	24,944	25,451
計	1,276,600	1,310,900

## 2 運転キロが増加する主な系統

(単位 km)

系 統 名	増加する一日当たりの運転キロ
C-758	84
基幹2	68
有松12 (支線)	45

### 3 バス路線の見直し

#### (1) 一般系統

年度	系統名	変更内容
27	東海11	港区役所発南陽交通広場行きを循環路線へ変更
	東海12	港区役所発南陽交通広場行きを循環路線へ変更
	名駅20	広川町四丁目経由を露橋スポーツセンター経由へ経路変更
	金山22	地下鉄高畑発循環路線を戸田経由へ経路変更
28	幹原1	地下鉄原～相川三丁目～島田一ツ山の支線新設
	名駅15	名古屋駅発砂田橋行きを茶屋ヶ坂行きへ路線延長
	中村12	春田駅経由へ経路変更
	中村13	稲西車庫発中村区役所行きを名古屋駅(太閤通口) 経由の循環路線へ変更
	植田12	天白福社会館経由の支線新設
29	C-758	大須地区への延伸による経路変更
	有松12	観光に配慮したバス路線(支線)の新設

(2) 地域巡回系統

年度	系統名	変更内容
27	中村巡回	名古屋駅（太閤通口）及び宿跡町経由へ経路変更
	瑞穂巡回	博物館経由と高辻経由を統合し経路変更
28	中川巡回	露橋スポーツセンター経由へ経路変更
	志段味巡回	志段味大塚古墳経由へ経路変更

## 4 港区役所回転場を活用した管理委託

### (1) 経緯及び今後の予定

平成16年10月	港営業所を廃止し、バス回転場として使用
平成19年 4月	大森営業所を名鉄バス株式会社に委託
平成21年 4月	浄心営業所を三重交通株式会社に委託
平成24年 4月	野並営業所を名鉄バス株式会社に委託
平成26年 4月	浄心営業所楠分所を三重交通株式会社に委託
平成28年 4月	港区役所回転場を活用した管理委託について事業者募集（応募事業者なし）
10月	応募条件を見直し、事業者再募集
平成29年 1月	委託事業者を三重交通株式会社に決定
平成30年10月	港区役所回転場を活用して14両を委託（予定）
平成32年 4月	港区役所回転場を活用して計30両を委託（予定）

### (2) 営業所整備費用

280百万円

### (3) 効果額

(単位 百万円)

区 分	委 託 前	委 託 後	差 引
人 件 費	445	0	△ 445
経 費	53	468	415
計	498	468	△ 30

(注) 委託車両数30両で試算した、一年間の効果額です。



## 5 地域巡回バスの新たな魅力づくり

### (1) 愛称

学生がモデルとして抽出・研究した地域巡回バス3系統について、運行する地域の魅力を表現した愛称の提案を受けました。

系 統	愛 称
中 村 巡 回	秀 吉 出 世 バ ス
熱 田 巡 回	じん (神) グルリンバス
緑 巡 回	めぐりっちバス

(注) 平成28年2月10日に実施した、名古屋学院大学の学生による最終提案発表会の内容をまとめたものです。

### (2) PR方法

地域巡回バス22系統について、存在感を高め、利用促進を図るための8つの取組みを、「地域巡回バス⑧プロジェクト」と題して提案を受けました。

視 点	提 案 内 容
市 民 の 利用を促進 する視点	①車内空間を活かすために市民ギャラリーとしての活用
	②愛着をもってもらうために地域情報満載の手作りマップ
	③沿線にまつわる地域の歴史紹介など学べるガイド
観 光 客 の 利用を促進 する視点	④アニメと声優の音声ガイドによるマニアを集客
	⑤注目を集めるために季節やルート独自の制服着用を
	③沿線にまつわる地域の歴史紹介など学べるガイド (再掲)
存 在 感 を 高める視点	⑥存在感を示すために車外ヘッドマークとラッピング
	⑦プレミアム感を出すために愛想のいい運転手さんを厳選
	⑧わかりやすく、皆に愛される地域巡回バス用のバス停を

(注) 平成28年2月10日に実施した、名古屋学院大学の学生による最終提案発表会の内容をまとめたものです。

## 6 「幸せつかもう！ハート♡バス」に関するアンケート

### 「幸せつかもう！ハート♡バス」アンケート

このたびは、「ハート♡バス」にご乗車いただき、ありがとうございました。

今後の企画の参考にさせていただきますので、アンケートにご協力をお願いします。

当てはまる番号に○をおつけください。

お選びいただいた番号に( )の記入欄がある場合は、( )内の記入もお願いします。

問1. あなたの年齢はいくつですか。

- ①6歳未満(未就学児) ②6歳以上12歳未満(小学生) ③12歳以上20歳未満  
④20歳代 ⑤30歳代 ⑥40歳代 ⑦50歳代 ⑧60歳代 ⑨70歳以上

問2. あなたの性別はどちらですか。

- ①男性 ②女性

問3. あなたの住まいはどちらですか。

- ①名古屋市内 ②愛知県内(名古屋市外) ③愛知県外…( )都・道・府・県  
④日本国外( )

問4. 今回、バスに乗車される前から「幸せつかもう！ハート♡バス」のことをご存知でしたか。

- ①知っていた → 問4-2に進んでください。  
②知らなかった → 問5に進んでください。

問4-2. ご存じだった方にお聞きます。

ハート♡バスを探して乗車しましたか。

- ①自分で探して乗車した ②営業所に問い合わせで乗車した ③偶然に乗車した

問4-3. ご存じだった方にお聞きます。

ハート♡バスのことをどこで知りましたか。

- ①駅構内ポスター ②地下鉄・バス車内中吊りポスター ③名古屋市交通局ウェブサイト  
④広報なごや ⑤得ナビ ⑥ナゴヤパレット ⑦テレビ ⑧新聞  
⑨その他( )

問5. 乗車記念証に乗っているQRコードは確認しましたか。

- ①確認した ②確認しなかった

問6. 「幸せつかもう！ハート♡バス」に乗車された感想などをご自由にお書きください。

[ ]

以上でアンケートは終了です。ありがとうございました。

## 7 名城線・名港線可動式ホーム柵の整備

### (1) 事業費

(単位 千円)

区 分	金 額
車 両 改 造	1, 0 0 0, 3 1 4
機 械 室 整 備	7 4, 8 5 8
信 号 設 備 改 修 等	3 9, 8 4 9
計	1, 1 1 5, 0 2 1

### (2) 財源

(単位 千円)

区 分	金 額
国 庫 補 助 金	5 2, 4 2 1
一般会計補助金・出資金	2 8 1, 2 4 6
企 業 債 等	7 8 1, 3 5 4
計	1, 1 1 5, 0 2 1

(注) 国庫補助金は、地下高速鉄道整備事業費補助（国土交通省所管）です。

## 8 地下鉄駅ホームからの転落件数等の推移

### (1) 転落件数

(単位 件)

区分 \ 年度	27	28
東山線	6	0
名城線・名港線	23	7
鶴舞線	6	13
桜通線	0	0
上飯田線	0	0
計	35	20

(注) 平成28年度は、平成29年1月末までの件数です。

### (2) 自殺件数

(単位 件)

年度	27	28
件数	2	2

(注) 警察が判断した件数で、平成28年度は平成29年1月末までの件数です。

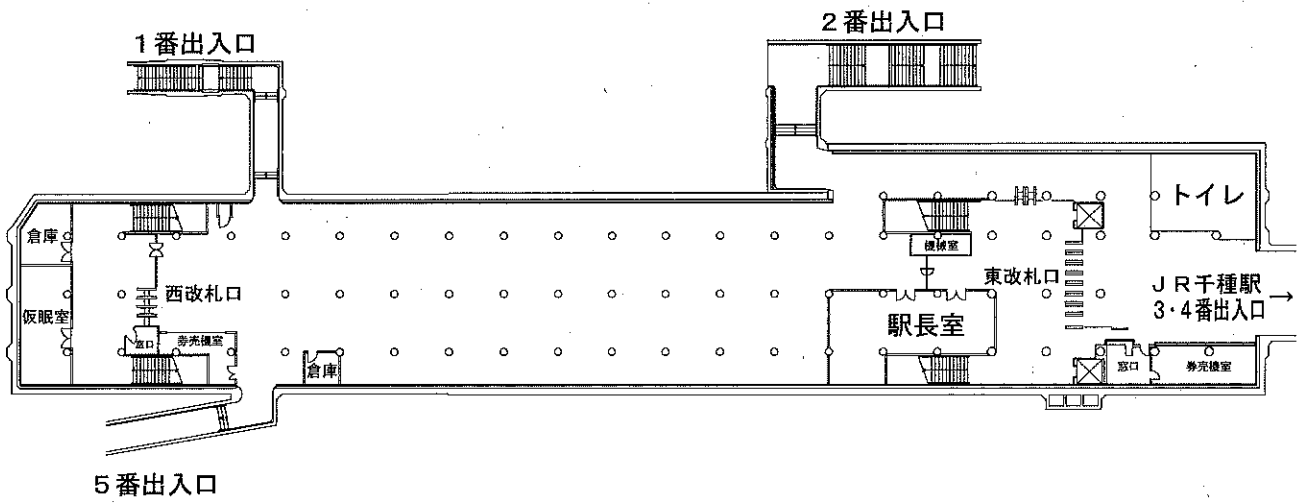
9 東山線のワンマン運転化による削減人員及び削減額

区 分	削減人員 (人)	削減額 (百万円)
28年度	△15	△103
29年度	△49	△347
計	△64	△450

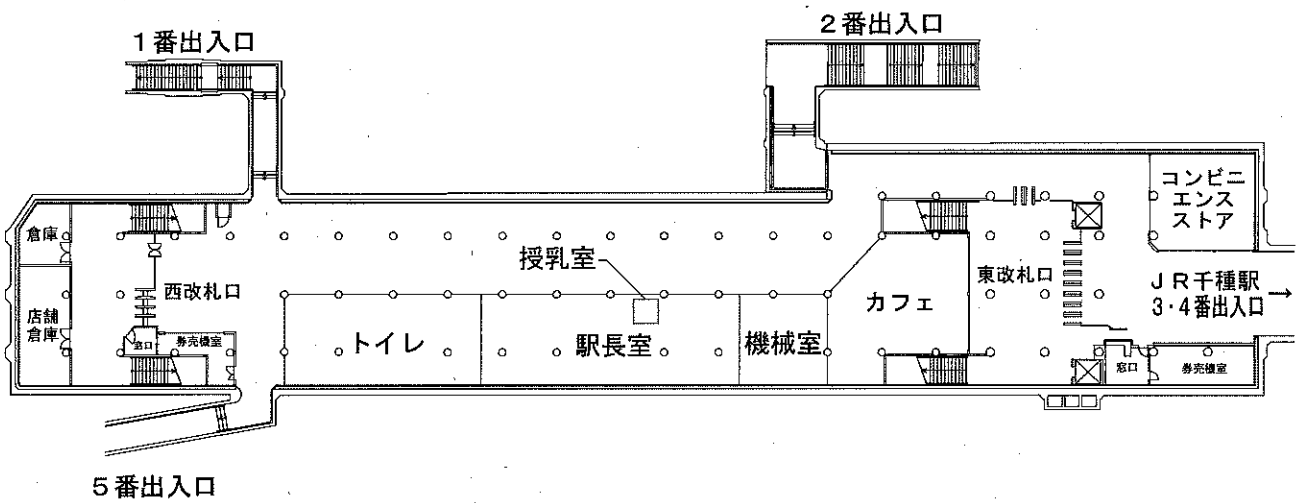
# 10 千種駅施設の整備

(平面図)

## (1) 現状



## (2) 整備後

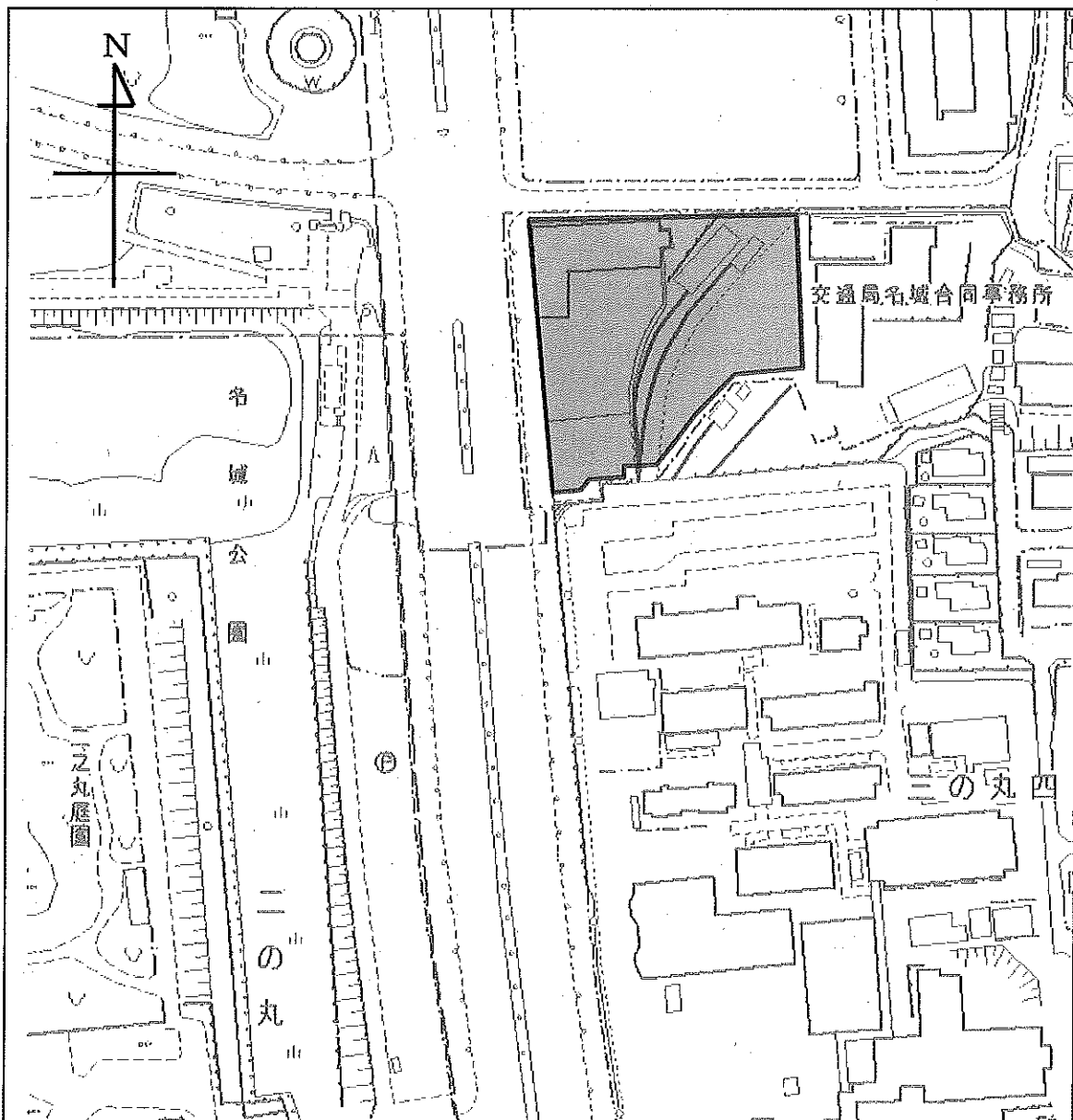


# 1 1 未利用地

## (1) 旧名城工場用地

所在地番	面積
中区三の丸四丁目2番1 他1筆	6,006 <sup>m</sup> 2

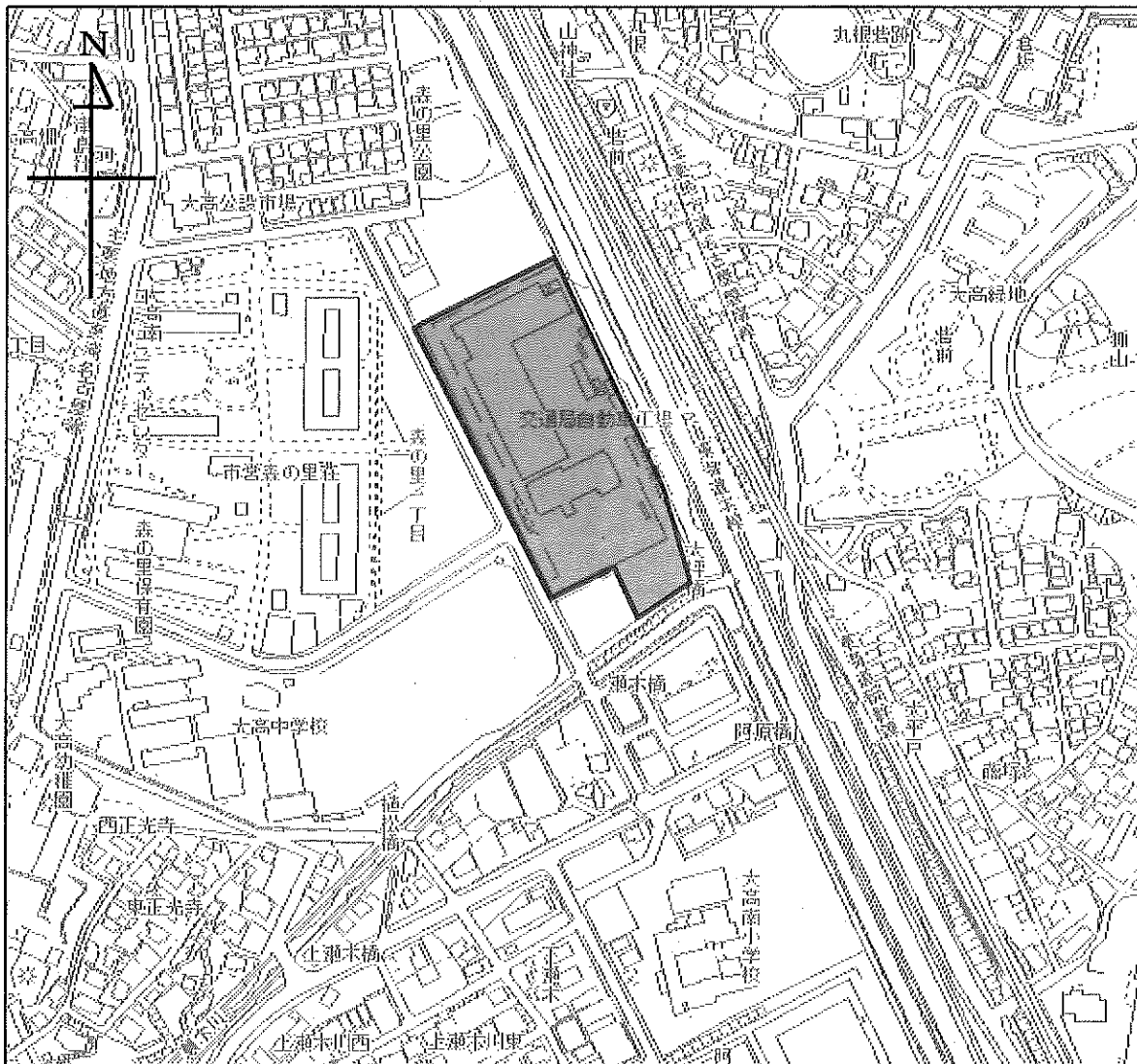
(位置図)



(2) 旧自動車工場用地

所在地番	面積
緑区森の里一丁目96番 他2筆	20,001㎡

(位置図)





## 1 2 地下鉄駅バスターミナル用地の有効活用に関する調査の概要

目 的	民間開発事業者による地下鉄駅バスターミナル用地のビル建設・運営の可能性を検討するもの
調査会社	株式会社 ザイマックス
調査期間	平成28年8月1日～平成29年1月31日
調査箇所	地下鉄駅バスターミナル用地 11箇所 〔中村公園、本陣、星ヶ丘、一社、本郷、藤が丘〕 〔新瑞橋、六番町、名古屋港、植田、平針〕
調査の前提条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間開発事業者がビルを建設し、運営をすること</li> <li>・民間開発事業者がバスターミナル用地の地代を払うこと</li> <li>・バスターミナル機能を1階に有すること</li> <li>・民間開発事業者が建設時、解体時のバス回送にかかる費用を負担すること</li> </ul>
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビル建設の前提条件の整理</li> <li>・用途の適否（開発実績のある事業者へのヒアリング）</li> <li>・バスターミナルの機能維持と費用（開発実績のある事業者へのヒアリング）</li> <li>・民間開発事業者の事業者収支の試算</li> </ul>

### 1 3 広告料収入の推移

(単位 千円)

区 分		年 度			
		2 6	2 7	2 8	
バ ス	車 両	ポ ス タ ー 等	16,654	20,318	19,990
		ス テ ッ カ ー	3,608	3,608	3,592
		外 側 板	27,694	26,009	25,414
		ラ ッ ピ ン グ	61,618	63,321	69,689
		案 内 放 送	21,924	20,974	21,211
	そ の 他	バ ス 停 留 所	4,555	4,793	4,867
		タ ー ミ ナ ル	25,194	25,866	25,445
		屋 外 看 板 等	3,138	3,138	3,038
	計		164,385	168,027	173,246
	地 下 鉄	車 両	ポ ス タ ー 等	1,230,569	1,144,451
ス テ ッ カ ー			385,753	381,634	411,103
ラ ッ ピ ン グ			907	5,746	5,604
案 内 放 送			158,706	156,017	158,630
駅		ポ ス タ ー 等	484,208	476,536	479,831
		壁 面	614,552	627,441	715,559
		各 種 ア ン ド ン	44,113	38,878	36,854
		構 内 器 物 類	14,815	13,709	12,514
そ の 他		屋 外 看 板 等	8,309	9,279	9,217
計		2,941,932	2,853,691	2,934,333	
合 計		3,106,317	3,021,718	3,107,579	

(注) 各年度とも、4月から翌年1月までの実績です。

## 1 4 駅名板下広告

### (1) 掲出状況

駅名	表示名	広告料（年額）		
		400万円未満	400万円～500万円	500万円超
新栄町	プロトコーポ前		○	
星ヶ丘	椋山女学園大学前		○	
矢場町	松坂屋前			○
名城公園	愛知学院大学 名城公園キャンパス前	○		
ナゴヤドーム前 矢田	名城大学前	○		
瑞穂運動場東	パロマ瑞穂 スポーツパーク前	○		
西高蔵	名古屋学院大学前	○		
日比野	名古屋学院大学前	○		
塩釜口	名城大学前	○		
瑞穂区役所	名古屋女子大学前	○		
瑞穂運動場西	パロマ瑞穂 スポーツパーク前	○		

(注) 平成29年1月末現在の掲出状況です。

### (2) 広告料収入

37,522千円（平成28年度見込み）

# 15 休職者数の推移

(単位 人)

区 分		27年度			28年度		
		精神 疾患	その他	計	精神 疾患	その他	計
バ ス		12	7	19	8	6	14
地 下 鉄	駅務区	5	4	9	3	4	7
	運転区	3	3	6	1	4	5
その他		12	6	18	9	3	12
合 計		32	20	52	21	17	38

(注) 平成28年度は、平成29年1月末までの状況です。

## 1 6 職員提案制度

### (1) 提案件数

(単位 件)

年 度	2 7	2 8
提案件数	1 6 2	9 7

(注) 平成28年度は、12月末までの件数です。

### (2) 実施する提案内容の例

- ・「なごや乗換ナビ」の利用促進を図るため、携帯電話等からすばやくアクセスできるQRコードのシールを作成し、券売機等に貼付
- ・お客様の利便性向上のため、お客様に配布する「市バス・地下鉄路線図」の地図中に市バス営業所の位置を表示
- ・消防用設備の維持管理の効率化を図るため、所管課がそれぞれ実施している設備等の修繕・交換業務を、局で一括して契約している消防用設備等の点検業務の中で実施するように変更

